

5月25日(土)～26日(日)開催
第3064回例会 単独例会
ヒヨコ/2019年度/初夏の山(1泊2日)

「^{みひらやま}三平山から^{ぎぼしやま}擬宝珠山～^{そうやま}象山へ」に参加して

布引支部 M.H

変形性膝関節症・・・と診断され、人工関節を入れる手術を進められたのが新年早々でした。一時はショックでしたが「手術したら又元気に歩けるよ!」との医者言葉に決断。2月2日に手術を受け、多少違和感はあるものの、無事終わった安堵感と開放感に、散策だけ楽しんだらええわ!の軽い気持ちで参加申込をしました。



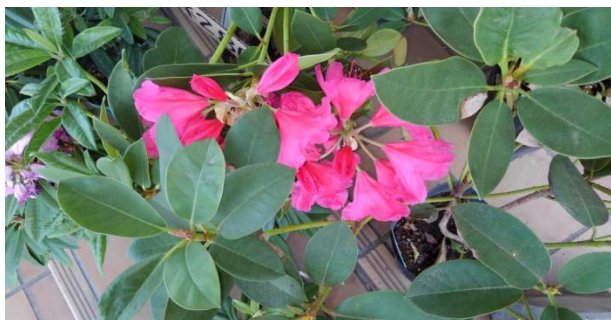
変形性膝関節症(イメージ)

ところが出発に先立ち先生に報告すると、「未だ無理したらあかんで!」とクギをさされ、又々不安が先行。出発間際に会長に「山は登らんと、付近の散策しときます!」のメールを入れました。「なに言うてんの!散策そのものの山やのに!この山歩けなんたら、もう山歩きするの、あきらめ!!」と、膝の不安以上のショックな言葉が返ってきました・・・

【第1日目/25日(土)】

出発間際の新神戸バスターミナル。参加されている皆さんが元気そのものに思えたのは、不安からくる私のヒガミだったのかな～!・・・

バスは目的地の手前「蒜山高原センターで



美しいシャクナゲの花

最後の休憩。色とりどりのシャクナゲの花が気持ちを和らげてくれます。聞けば、明日までが

「シャクナゲまつり」の期間だそうでした。

三平山への登山口手前でバス降車。「ゆっくり ゆったり歩くから来なあかん!」と強引な? 会長の言葉に覚悟を決めついて行くことにしました!・・・



「ほんまに ゆっくり ゆったりやわ!」

登りにかかる登山道入口までは車道をゆっくりと歩きます。ニューサークルの方たちが最後尾をサポートしてくれているので有難いことです。先頭を歩かれる会長は、短め短めに休憩を取って、私達が落ちこぼれ無いうように「ゆっくり・ゆったり」歩いてくれていたので不安な気持ちが少しずつ和らいでいきました。



さあ、三平山への登山口です!

説明通り、ジグザグで緩やかな登山道をゆっくりと登ります。「登山口の標高が730M程あるので、1,010Mの三平山山頂まではたった280Mしか登らへんのや!」・・・と会長の言葉。ご不満なのは解りますが、どうぞこのままゆっくりゆったり行ってんか!!・・・と願うばかりの布引乙女隊3名?でありました!・・・途中、保久良の木村支部長が、珍しいキンランを見つけられ、写真に収めておられました。



開花寸前のキンラン！



大山遠望（資料の表紙絵は 30M程下った場所から）

この辺りは大山隠岐国立公園内の大山地域で、植物・昆虫・自然石などの採集は禁じられているため、訪れるハイカーのマナーも良いのでしょうね！やっぱり花は自然環境の中で見るのが一番美しい！・・（え〜かっこ言い過ぎ・・！！）稜線へ出ると山頂まで緩やかな 1 本道がついて

います。好天が続き過ぎ、気温が高いために楽しみの大山展望は少し霞んで見えますが、それでも流石に「大山展望の山」でした。・・

12 時 30 分山頂に到着。おもしろいおもしろいに展望を楽しみながらの昼食タイムとなりました。



三平山山頂（1,010M）にて 31 名全員登頂

撮影/お吉野です！

お小堺さん	伊知地さん	お石田さん
お川崎さん	久宗さん	筒井さん
横山さん		大神さん
山田さん	光永さん	お曾谷さん
鈴木さん	渡辺さん	滝本さん
お渡田さん		藤井(孝)さん
お下村さん		木村さん
小松さん	村上さん	
中岡さん	土居さん	松田さん
藤井(良)さん		
玉井さん	牧野さん	小西さん
谷口さん	逢坂さん	潮崎さん

展望を心行くまで楽しんだのと、お腹が満たされたのとで、スタート前の不安は何処へやら！余裕すら？ 出てきたのは何で？・・・そ〜か！誰かさんに今回は騙されてなかったんや！・・・登る決断して良かった〜！！



奥大山休暇村ホテル（広報写真より）

そして、宿泊した奥大山休暇村ホテルでは、温泉と、貸切の大広間での夕食を心行くまで楽しんだ布引乙女隊3名の第1日目でした。

【第2日目/26日（日）】

久しぶりの山歩きによる適度な疲労と、宿泊登山恒例の懇親2次会を遠慮したおかげで熟睡出来たのか、目覚めは大変爽やかでした。高原の清々しい空気や冷気を楽しもうと早朝よりホテル前へ出ると、もう数名のヒヨコ女子がラジオ体操を行っておられたのでその輪に入りました。



いち〜にい〜さん！



朝食はバイキング形式で、大変多くの種類が並んでいました。昨夜はあんなに食べたのに！・・・と自分にあきれながらも、しっかりと食べてその勢いで歩くことにしました。但し、擬宝珠山だけ。象山はパス！と昨夜から秘かに決めていました。

8時20分ホテル前出発。冬は鏡ヶ成スキー場として賑わう正面の斜面の右側から登山道が続いています。



31名のヒヨコ登山隊（トップ渡田さんラスト会長）

出発前に会長より説明があった通り、このお山もジグザグの登山道が付いており、私にとっては大変有難いことでした。欲を言うなら傾斜がもう少し緩やかだったらな〜！・・・と言ったら、絶対に怒られる言葉が返ってくるでしょう！と思ったので言うのをやめました。



チゴユリ



エンレイソウ



？



ギボウシ

登山道の際には色々な植物が有り、花を付けている時期に見るともっとかわいいだらうな～と思うのが精いっぱい、花の名前などの話を聞く余裕はありません！・・そうこうしているうちに山頂に飛び出しました。



布引隊 12 名と一王山隊 1 名で記念撮影

山頂からは中国山地の山々がパノラマのようにひろがっていました。そして、昨日登った三平山が、同じ背丈で南の方向に眺められました。東の方には上・中・下の各蒜山が横たわっています。（登ってよかった！！）

記念写真や展望を楽しんで次の目的の山、象山へ向かいました。いつものことですが、進んでいる方向が、北なのか南なのか、はたまた東？西？・・私にはよくわかりません！・「地図とコンパスで、常に自分のおる場所、行く方向を確認する癖（クセ）つけなあかんやないか！！」と又怒られそうなので、静かに？皆さんの歩いた方向へ向かいます・・途中、カタクリが沢山あり、花の時期にはきれいだろうな・・と思いながら、緩やかな登山道を進みました。



写真：花を終えたカタクリ 下：イラスト



はやる心は最後の象山をパスし、下山逃亡？の思いばかり！！・・どんどん下って行くので騙されて、逃亡できないのと違う？・・と思っていたら、やっと分岐に到着しました。ここから３人組の旧乙女隊と、新乙女隊のSさんの４名が皆さんに見送られ？？奥大山休暇村目指して元気に？下って参りました！！



にこやかな新旧布引乙女隊 4 名・・でした！

ここからの行動はクロージング！にして、・・象山を極められた皆様のお話を聞くことで、私達も登ったつもりになりましょう！！



象山山頂（1,085M）にて



烏ヶ山とその後ろが大山

「象山からの下りは、それはそれは素晴らしい眺めで、さっき登った擬宝珠山や広大な鏡ヶ成。

そして、烏ヶ山（からすがせん）とその後に見える大山。下って行くと清々しいブナの木林など、ごっつうきれいだったで～！！見れんで残念やったな～・・・。」と、会長より逃亡者に皮肉の弁。

「私らは余裕の乙女隊！ホテルのフロアでゆっくりアイスクリームをいただいて、あれやこれやの話に花が咲きましたよ～！！」と、返しておきました。



小さな露天風呂のある足温泉

帰路に立ち寄った「足（たる）温泉」は素朴な温泉で、時間が許されるなら、もっとゆっくりと楽しみたいな～と思いました。

僅か 2 日間でしたが今年も又、楽しい夏山（初夏）へ連れて行って下さり感謝です。お世話下さった皆様に心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

END

天 候 2 日間共晴れ

参加者 31 名

・・・・・・・・・・・・・・・・

【擬宝珠山（ぎぼしやま）】について

この企画を立てる前から、擬宝珠山の名が付いたのは、植物の「ギボウシ・和名：擬宝珠/キジカクシ科リュウゼツラン亜科ギボウシ属（学名：*Hosta*）の総称。山間の湿地などに自生する多年草。食用となり、花が美しく、日陰でもよく育つ」ギボウシが、この山のあちこちに咲いているからこの名が付いたのだろう・・・と思っていたら、そうでもないらしい。確かにそれもあるようですが・・・

擬宝珠（ぎぼし・ぎぼうし・ぎぼうじゅ）とは、橋の欄干などの柱の頂部につける、丸くて先のとがったネギの花の形をした飾りのことを言う・・・つまり、山の形が、見る角度によってそのように

みえるから・・・と言う説もあるようです。

いずれにしても珍しい名の山ですよ～ね！。



（吉野 記）